

野田堤 ハザードマップ 相川地区 二見

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。（決壊から最大60分後まで計算）

満水状態のため池の堤体が瞬時決壊（天端から池底まで）し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。（河川氾濫や内水氾濫は未考慮）

凡 例

氾濫水の到達時間

ため池氾濫による最大浸水深

3.0m以上の区域

2.0～3.0m未満の区域

1.0～2.0m未満の区域

0.5～1.0m未満の区域

0.3～0.5m未満の区域

0.3m未満の区域

その他危険区域

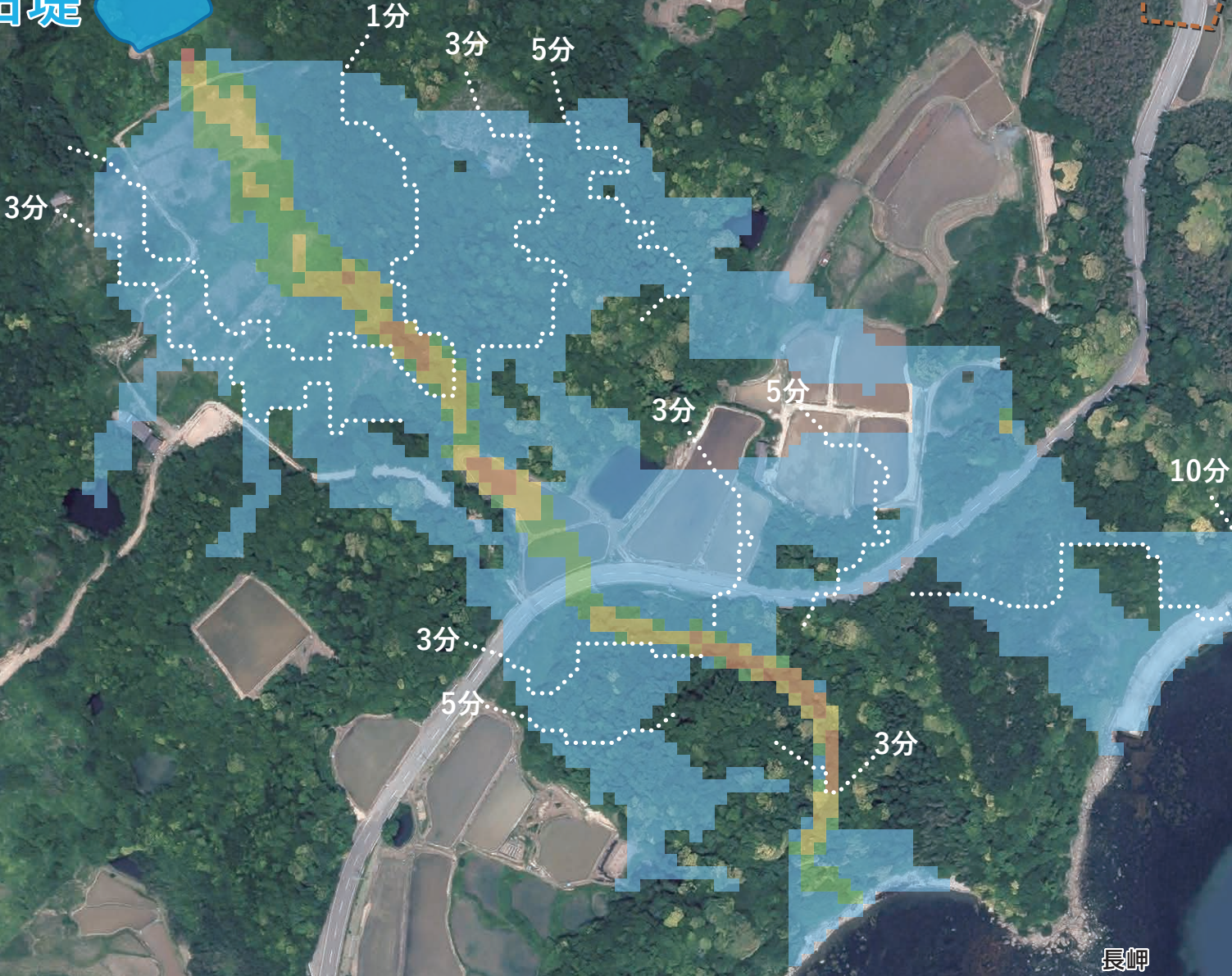
土砂災害警戒区域
(簡易表示・地すべり除く)

ため池諸元 ※ため池台帳より

築 造 年 代	明 治 時 代
堤 高	3.5m (3.7)
堤 長	33.0m
天 端 幅	2.0m
貯 水 量	4,200㎡ (2,700)
受 益 面 積	1.5ha
管 理 者	金子 壽作

※()内は、令和2年4月の計測値
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差

野田堤



津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。（佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です）

●佐渡市地域防災マップ
（二見・相川・金泉地区版） 平成31年3月作成

